

沖縄県立沖縄盲学校 学校案内



校訓「清く明るく よく学び 光り輝く」



「福治の庭」・・・初代校長の高橋福治先生の胸像を中心に、2021年の100周年記念事業として福治先生の説明板と校訓石碑を設置しました。

〒901-1111

南風原町字兼城 473 番地

TEL: 098-889-5375

FAX: 098-888-2547

Mail: xx350010@pref.okinawa.lg.jp

HP: <http://www.okimo-sh.open.ed.jp>

QR コード



100年の歴史を刻み

未来へ羽ばたく 沖縄盲学校



1. 本校教育の特色

本校は、視覚に障害がある（全盲及び弱視）幼児・児童・生徒が在学しています。

幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準じた教育を行うとともに、まったく見えない人だけでなく、その人の視力の程度に合わせた教育を行い、視覚の障害に基づく種々の困難を改善・克服し、積極的に社会参加・自立する社会人を育成するための教育を行っています。高等部には、普通科とあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格取得を目指す専攻科があります。

また本校においては視覚に障害がある方の「教育相談」も適宜行っております。乳幼児から成人の方、先天性の方から中途失明の方まで幅広く就学就労等の相談に応じています。

自立活動を中心に授業では、安全に効率よく歩くこと（白杖歩行）、日常生活の諸々の動作をスムーズに行うこと（日常生活動作）、普通の文字や絵などを認知して対処すること（文字処理・読み書き）を中心に行っていきます。その他、環境の把握や音やにおい・味による認知、姿勢の保持、食事のマナー、身だしなみ、整理整頓、貨幣の見分け方など、多岐にわたって行っています。加えて、視覚を補うための音声機器やパソコン機器、タブレット機器など様々なICT機器を活用しており、その扱い方も含め学習面のサポートを丁寧に行っております。



手引き歩行



点字盤



拡大読書器



白杖歩行

2. 教育目標と達成のための方針

本校創立者初代校長高橋福治氏の「視覚障害者が働き自立する力を身につける教育を根づかせ、広めること」を継承・発展させ、健康でたくましく、心豊かに成長・発達する過程において、自立と社会参加、貢献できる力の育成を目指す教育実践に努める。

視覚障害と複数の障害種に対応し、「生きる力」を育む教育の充実のため、全職員・保護者・地域が一体となって取り組み、学校経営の柱として「開かれた学校づくり」「魅力(特色)ある学校づくり」「豊かな感性と自立を育む学校づくり」「安心・安全な学校づくり」「信頼される学校づくり」をめざす。

3. 本校の特色ある行事

運動会



沖盲エイサー



ロープ走



円周走

文化祭



沖盲ふれeyeデー

- ・見えない・みえにくい方のための体験&相談会
- ・視覚補助具や便利グッズ、書籍等の情報提供
- ・本校の教育活動等を紹介、関係機関との連携



ピアサポート・・・保護者同士を中心に仲間(ピア)で支え合う(サポート)会で、H19年から続いています。保護者以外にも、視覚障害児に関わる教育・福祉関係の方々へのサポートも行っています。

4. 幼稚園

- ① 元気で明るく、たくましい子
- ② よく見て、よく触って、よく表現する子
- ③ 友達と仲良く遊ぶ子
- ④ 自分の力でやろうとする子
- ⑤ 身の回りのことが、自分でできる子

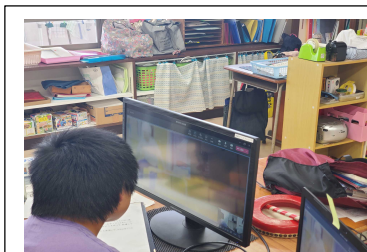
視覚に代わる感覚を育てるため、遊びを通して様々な活動に取り組んでいます。また、保護者の保育参加も行い、幼児の視る手を育てています。



プールで水遊び



公園へ校外学習



他県の児童と意見交換を交えたオンライン授業



南部農林高校へ行き、牛、豚、ニワトリの鳴き声、匂い、手触りなどを通して興味関心を育てています。



5. 小学部

- ① 健康で明るく、たくましい子
- ② 進んで学び、よく考える子
- ③ 心豊かで思いやりのある子
- ④ 最後までがんばる子
- ⑤ 自分のことは自分でできる子



「ミニ発表会」では、幼稚園と小学部のみんなで日頃学習で頑張っていることを発表します。

6. 中 学 部

- ① 健康・安全に心がけ、気力・体力を高める。
- ② 自らの進路に向けて自ら学び、学力を高める。
- ③ 協調性と思いやりの心を育む。
- ④ 最後までねばり強く、やり抜く態度を養う。
- ⑤ 自立し、社会参加するための力や態度を養う。



「ミュージックコンサート」は、中学部と高等部合同で日頃の取り組みの成果を発揮する場です。



「修学旅行」令和7年度は福岡県北九州市で、主な見学地がいのちのたび博物館、キッザニア、明太子道場でした。

7. 高 等 部

- ① 自己の健康管理能力を高める。
- ② 自ら学び、学力の向上と職業能力の強化に努める。
- ③ 自己の確立と協調性の育成に努める。
- ④ 最後までねばり強く努力し成し遂げる姿勢を育む。
- ⑤ 社会人としての自覚と豊かな人間性の育成に努める。

【普通科】



修学旅行・・・令和7年度は2泊3日の日程で関西地方へ学部全員で行きました。主な見学先は、国立民族学博物館や六甲スノーパークで様々な体験をしました。

就業体験・・・卒業後を見据え、本人の希望する職業を聞きそれにはできるだけ沿った職場を相談して体験先を決めます。体験後は実習の記録として発表会等も行います。



【専攻科】

あん摩マッサージ指圧師の技能と知識を習得する「保健理療科」と、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の技能と知識を習得する「理療科」の2つのコースがあり、課程修了後はその国家試験受験資格が得られます。

詳しくは、沖縄盲学校専攻科案内またはホームページをご覧ください。

8. 寄宿舎について

通学困難な児童生徒には寄宿舎があります。詳しくは、沖縄盲学校寄宿舎案内またはホームページをご覧ください。

9. 経費について

通学費、給食費等は世帯の収入に応じて、その全部又は、一部が支給されます。授業料は無料、教科書は無償です。

10. 外来治療室について

あん摩、マッサージ、指圧、はり、きゅうは、健康の維持増進・労働力の回復や病気の治療などに大きく貢献し、現在でも医療の一翼を担っています。

本校では、完備された施術施設を整え、授業の一環として近郊の外来患者を受け入れています。臨床の実習をとおり、より多くの症例を体験し、将来あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として社会に貢献できる力量を身につけるよう指導を行っています。（2年間で基礎的な理療の実技及び実習を終えた高等部専攻科3年生が、治療室で臨床実習を行います。）

●治療日および治療時間:

月～金まで 13:30～(1時間程度)

●予約受付時間:9:00～11:30

(定員に達し次第終了いたします。)

※学校行事により治療室の予定が変更になる場合があります。

視力や見え方で悩んでいる方へ

教育相談のご案内

お気軽にご相談下さい(無料)。まずはお電話を。

【相談内容】

(1)乳幼児の養育、就学、教育相談

(2)弱視児(者)の就学、教育相談

(3)中途失明児(者)の就学、教育相談

(4)職業自立相談(成人) あはき師(あん摩マッサージ指圧師、はり

師、きゅう師)の免許取得相談

0歳～成人まで

年齢は問いません

案内図

